

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

【開催日時】

2019年10月29日（火） 16:00～17:03

【開催場所】

新潟大学医歯学総合病院 第二会議室（西診療棟3階）

【出席委員名】

外山（委員長 薬剤部長）
 本間（外部委員・学識経験者）
 馬場（委員 麻酔科）
 葭原（委員 口腔生命福祉科）
 福井（委員 精神科）
 藤川（委員 皮膚科）
 森田（委員 耳鼻咽喉・頭頸部外科）
 佐野（委員 脳神経外科）
 奥田（委員 歯周病）
 八百板（委員 事務）
 笹原（委員 薬剤部）
 井越（委員 看護部）
 川崎（外部委員・一般）

<前回の議事要旨について>

2019年9月24日議事要旨について、承認された。

【審議事項】

<新規について>

1. 医師主導治験（1件）

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	I019-004	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌に対するメドロキシプロゲステロンとメトホルミンの併用妊孕性温存療法の用量反応性試験	治験を実施することの妥当性について審議した。	修正の上で承認

2. 治験（2件）

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	C019-016	ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病患者を対象としたセロンセルチブの第3相試験	治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	C019-017	協和キリン株式会社の依頼による早発型重症妊娠高血圧症候群患者を対象としたKW-3357の第Ⅲ相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験	治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

<変更について>

1. 医師主導治験（3件）

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	IH30-001	多系統萎縮症に対するMSA-01の有効性及び安全性を検討する、多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	IH30-003	統合型ゲノム解析によるトランスレーショナルリサーチを用いた、高異型度卵巣癌患者を対象としたオラパリブ維持療法に関する多施設共同第II相臨床試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
3	I019-003	進行性/再発性の子宮体がん患者を対象にバクリタキセル+カルボプラチンにアテゾリズマブを併用する二重盲検プラセボ対照ランダム化第Ⅲ相比較試験-子宮体がんを対象としたアテゾリズマブの医師主導治験-（AtTEnd）	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

2. 治験（32件）

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	CH27-002	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとイピリムマブの併用療法とスチニブの単剤療法を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	CH27-006	小野薬品工業株式会社の依頼によるプラチナ製剤による治療後に進行又は再発した転移性又は切除不能な尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブ単群の第Ⅱ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
3	CH27-007	ゼリア新薬工業株式会社の依頼による子宮頸癌患者を対象としたZ-100の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
4	CH27-009	中外製薬株式会社の依頼による腎細胞癌患者を対象としたATEZOLIZUMABおよびベバシズマブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
5	CH27-010	ファイザー株式会社の依頼による第1相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
6	CH27-011	小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4538の卵巣がんに対する第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

7	CH27-018	ファイザー株式会社の依頼による尿路上皮癌患者を対象としたアベルマブ (MSB0010718C) の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
8	CH28-008	ファイザー株式会社の依頼による腎癌患者を対象としたアベルマブ (MSB0010718C) とアキシチニブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
9	CH28-012	小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4538第Ⅲ相試験 食道がんに対する多施設共同無作為化非盲検試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
10	CH28-014	MSD株式会社の依頼による進行性又は転移性尿路上皮癌患者を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
11	CH29-004	中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたMPDL3280A (atezolizumab) の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
12	CH29-005	中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたRO5532961 (Ipatasertib) の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
13	CH29-010	EPSインターナショナル株式会社 (治験国内管理人) の依頼による小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象としたMOD-4023の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
14	CH29-014	ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による腎細胞がん患者を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
15	CH29-015	小野薬品工業株式会社の依頼による尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブとイピリムマブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
16	CH29-018	エーザイ株式会社による腎細胞癌を対象としたE7080, MK-3475の第3相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
17	CH30-001	中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたMPDL3280Aの第Ⅱ/Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
18	CH30-003	アッヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
19	CH30-004	アッヴィ合同会社の依頼による既存治療に対して効果不十分又は不耐容であるが生物学的製剤での治療失敗歴のない、中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
20	CH30-005	アッヴィ合同会社の依頼によるM14-431 試験又はM14-433 試験を完了したクローン病患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
21	CH30-011	アッヴィ合同会社の依頼による進行性核上性麻痺を有する被験者を対象としたABBV-8E12の有効性, 安全性, 忍容性及び薬物動態を評価する無作為化, 二重盲検, プラセボ対照, 反復投与試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
22	CH30-013	MSD株式会社の依頼による進行子宮体癌患者を対象にE7080及びMK-3475を併用投与する第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
23	CH30-015	協和発酵キリン株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病患者を対象としたRTA 402 (Bardoxolone methyl) の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
24	CH30-020	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に, ニボルマブとカボザチニブの併用療法とスニチニブと比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
25	CH30-026	大日本住友製薬による膠芽腫を対象としたDSP-7888の第2相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
26	C019-001	日本イーライリリー株式会社の依頼による若年性特発性関節炎を対象としたLY3009104の第Ⅲ相二重盲検試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
27	C019-002	日本イーライリリー株式会社の依頼による若年性特発性関節炎を対象としたLY3009104の長期第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

28	C019-006	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による多発性硬化症患者を対象としたOMB157の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
29	C019-007	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象として、somapacitanの週1回投与の有効性及び安全性を1日1回投与のNorditropin®と比較検討する	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
30	C019-008	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による2歳又はそれ以上の年齢においても成長のcatch-upがみられなかったSmall for Gestational Age性低身長症患者を対象として、somapacitanの週1回投与の有効性及び安全性を1日1回投与のNorditropin®と比較検討する用量設定試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
31	C019-012	小野薬品工業株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたニボルマブとBMS-986205の第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
32	C019-014	ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 2b, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Safety and Efficacy of JNJ-64304500 in Subjects with Moderately to Severely Active Crohn's Disease 中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするJNJ-64304500の安全性及び有効性の評価を目的とした第2b相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、多施設共同試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

<監査報告書について>

1. 医師主導治験 (1件)

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	IH27-002	急性脊髄損傷患者に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較試験 第Ⅲ相試験	提出された監査報告書について審議した。	承認

<安全性情報等について>

1. 院内 (9件)

«医師主導治験、治験» (9件)

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	IH30-001	多系統萎縮症に対するMSA-01の有効性及び安全性を検討する、多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	IH30-001	多系統萎縮症に対するMSA-01の有効性及び安全性を検討する、多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
3	IH30-001	多系統萎縮症に対するMSA-01の有効性及び安全性を検討する、多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
4	IH30-001	多系統萎縮症に対するMSA-01の有効性及び安全性を検討する、多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
5	CH27-012	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼によるLFG316の発作性夜間ヘモグロビン尿症の患者を対象とした第Ⅱ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
6	CH29-015	小野薬品工業株式会社の依頼による尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブとイピリムマブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
7	CH30-011	アツヴィ合同会社の依頼による進行性核上性麻痺を有する被験者を対象としたABBV-8E12の有効性、安全性、忍容性及び薬物動態を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、反復投与試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
8	CH30-024	アストラゼネカ株式会社の依頼による進行卵巣癌を対象としたオラパリブ/デュルバルマブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
9	CH29-015	小野薬品工業株式会社の依頼による尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブとイピリムマブの第Ⅲ相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

2. 国内・海外 (63件)

《医師主導治験、治験》 (63件)

No	整理番号	議題	内容	審査結果
1	IH30-003	統合型ゲノム解析によるトランスレーショナルリサーチを用いた、高異型度卵巣癌患者を対象としたオラパリブ維持療法に関する多施設共同第II相臨床試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2	I019-001	再発又は難治性のCD30陽性皮膚原発悪性リンパ腫を対象としたプレントキシマブ ベドチンの有効性及び安全性を確認する多施設共同第II相医師主導治験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
3	I019-002	転移性 (IVB期)、残存、又は再発性の子宮頸癌患者を対象に、プラチナ製剤とパクリタキセルを含む化学療法にペバシズマブ、アテゾリズマブとの併用と、プラチナ製剤とパクリタキセルを含む化学療法とペバシズマブとの併用を比較する多施設共同ランダム化第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
4	CH27-002	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとイビリムマブの併用療法とスニチニブの単剤療法を比較する無作為化非盲検第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
5	CH27-006	小野薬品工業株式会社の依頼によるプラチナ製剤による治療後に進行又は再発した転移性又は切除不能な尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブ単群の第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
6	CH27-007	ゼリア新薬工業株式会社の依頼による子宮頸癌患者を対象としたZ-100 の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
7	CH27-009	中外製薬株式会社の依頼による腎細胞癌患者を対象としたATEZOLIZUMABおよびペバシズマブの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
8	CH27-010	ファイザー株式会社の依頼による第1相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
9	CH27-014	日本イーライリリー株式会社の依頼による第1 b/第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
10	CH27-018	ファイザー株式会社の依頼による尿路上皮癌患者を対象としたアベルマブ (MSB0010718C) の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
11	CH28-004	中外製薬株式会社の依頼による肺癌患者を対象としたMPDL3280Aの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
12	CH28-006	中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者 (扁平上皮癌) を対象としたatezolizumabの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
13	CH28-008	ファイザー株式会社の依頼による腎癌患者を対象としたアベルマブ (MSB0010718C) とアキシチニブの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
14	CH28-012	小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4538第III相試験 食道がんに対する多施設共同無作為化非盲検試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
15	CH28-014	MSD株式会社の依頼による進行性又は転移性尿路上皮癌患者を対象としたMK-3475の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
16	CH28-015	MSD株式会社の依頼による腎細胞癌を対象としたMK-3475の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
17	CH28-017	アステラス製薬株式会社の依頼による前立腺癌を対象とするエンザルタミドの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
18	CH28-018	プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による胸膜中皮腫を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
19	CH28-019	中外製薬株式会社の依頼による腎摘除後の再発リスクが高い腎細胞癌患者を対象とした術後補助療法としてのATEZOLIZUMAB (抗PD-L1抗体) を評価する第III相多施設共同ランダム化プラセボ対照二重盲検試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
20	CH28-020	中外製薬株式会社の依頼による尿路上皮癌患者を対象としたMPDL3280A (atezolizumab) の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
21	CH29-002	プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による非小細胞肺癌を対象としたBMS-936558/BMS-734016 の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

22	CH29-003	中外製薬株式会社の依頼による初発のステージIII期又はIV期の卵巣癌, 卵管癌又は原発性腹膜癌患者を対象に, パクリタキセル, カルボプラチン及びペバシズマブとの併用下でアテゾリズマブとプラセボを比較する第III相多施設共同ランダム化試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
23	CH29-004	中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたMPDL3280A (atezolizumab)の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
24	CH29-005	中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたR05532961 (Ipatasertib)の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
25	CH29-008	MSD株式会社依頼の早期非小細胞肺癌患者を対象としたMK-3475 (Pembrolizumab)の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
26	CH29-009	MSD株式会社の依頼による腎細胞癌を対象としたMK-3475の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
27	CH29-010	EPSインターナショナル株式会社(治験国内管理人)の依頼による小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象としたMOD-4023の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
28	CH29-014	プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による腎細胞がん患者を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
29	CH29-015	小野薬品工業株式会社の依頼による尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブとイピリムマブの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
30	CH29-017	武田薬品工業株式会社の依頼による日本人進行性腎細胞癌患者を対象としたCabozantinibの第2相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
31	CH29-018	エーザイ株式会社による腎細胞癌を対象としたE7080, MK-3475の第3相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
32	CH29-019	興和株式会社の依頼によるNAFLD患者を対象としたK-877の第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
33	CH30-001	中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたMPDL3280Aの第II/III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
34	CH30-003	アッヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたウバダシチニブ (ABT-494)の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
35	CH30-004	アッヴィ合同会社の依頼による既存治療に対して効果不十分又は不耐容であるが生物学的製剤での治療失敗歴のない、中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたウバダシチニブ (ABT-494)の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
36	CH30-005	アッヴィ合同会社の依頼によるM14-431 試験又はM14-433 試験を完了したクローン病患者を対象としたウバダシチニブ (ABT-494)の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
37	CH30-006	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による多発性硬化症患者を対象とした第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
38	CH30-008	株式会社ヤクルト本社の依頼による第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
39	CH30-009	アステラス製薬株式会社依頼の第II相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
40	CH30-010	アストラゼネカ株式会社の依頼による慢性腎臓病患者を対象としたDapagliflozinの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
41	CH30-011	アッヴィ合同会社の依頼による進行性核上性麻痺を有する被験者を対象としたABBV-8E12の有効性, 安全性, 忍容性及び薬物動態を評価する無作為化, 二重盲検, プラセボ対照, 反復投与試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
42	CH30-012	バイエル薬品株式会社の依頼によるプラチナ製剤を含む化学療法歴のあるFGFR陽性の局所進行性又は転移性尿路上皮癌患者を対象としたrogaratinib(BAY 1163877)の有効性と安全性を化学療法と比較、評価する無作為化、非盲検、多施設共同第II/III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
43	CH30-013	MSD株式会社の依頼による進行子宮体癌患者を対象にE7080及びMK-3475を併用投与する第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

44	CH30-014	フェリング・ファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
45	CH30-015	協和発酵キリン株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病患者を対象としたRTA 402 (Bardoxolone methyl) の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
46	CH30-017	アステラス製薬依頼の尿路上皮がんを対象とする Enfortumab Vedotin の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
47	CH30-018	中外製薬株式会社の依頼によるボラツズマブ ベドチンの第II相臨床試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
48	CH30-019	大正製薬株式会社依頼による第I相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
49	CH30-020	小野薬品工業株式会社の依頼による未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとカボザチニブの併用療法とスニチニブを比較する無作為化非盲検第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
50	CH30-024	アストラゼネカ株式会社の依頼による進行卵巣癌を対象としたオラパリブ/デュルバルマブの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
51	CH30-029	アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能な局所進行又は転移性尿路上皮癌患者を対象とした第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
52	CH30-030	アストラゼネカ株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌患者を対象としたMEDI4736の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
53	C019-001	日本イーライリリー株式会社の依頼による若年性特発性関節炎を対象としたLY3009104の第III相二重盲検試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
54	C019-002	日本イーライリリー株式会社の依頼による若年性特発性関節炎を対象としたLY3009104の長期第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
55	C019-003	日本イーライリリー株式会社の依頼による1型糖尿病患者を対象としたLY900014の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
56	C019-004	第一三共株式会社の依頼によるDS-5565の中枢性神経障害性疼痛患者を対象とした臨床第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
57	C019-005	大鵬薬品工業株式会社の依頼による高度催吐性抗癌性腫瘍薬（シスプラチン）を投与する患者を対象としたPro-NETUの第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
58	C019-006	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による多発性硬化症患者を対象としたOMB157の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
59	C019-007	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象として、somapacitanの週1回投与の有効性及び安全性を1日1回投与のNorditropin®と比較検討する	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
60	C019-008	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による2歳又はそれ以上の年齢においても成長のcatch-upがみられなかったSmall for Gestational Age性低身長症患者を対象として、somapacitanの週1回投与の有効性及び安全性を1日1回投与のNorditropin®と比較検討する用量設定試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
61	C019-009	アストラゼネカ株式会社の依頼による第I相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
62	C019-012	小野薬品工業株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたニボルマブとBMS-986205の第III相試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

新潟大学医歯学総合病院 会議の記録の概要

63	<u>C019-014</u>	ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 2b, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Safety and Efficacy of JNJ-64304500 in Subjects with Moderately to Severely Active Crohn's Disease 中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするJNJ-64304500 の安全性及び有効性の評価を目的とした第2b 相, ランダム化, 二重盲検, プラセボ対照, 並行群間, 多施設共同試験	引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
----	-----------------	--	----------------------------	----

<報告事項>

1. 迅速審査 (2件)

«製造販売後調査等» 新規 (2件)

S019-019 (迅速審査日: 2019年10月8日 承認)

S019-021 (迅速審査日: 2019年9月25日 承認)

2. 終了報告 (8件)

«製造販売後調査等» (8件)

SH30-026, S019-007, S019-009, S019-010, S019-011, S019-012, S019-013, S019-014

3. 報告 (27件)

«医師主導治験、治験» (25件)

I019-003, CH27-002, CH27-006, CH27-009, CH28-006, CH28-014, CH28-017, CH29-008, CH29-010, CH29-015, CH30-003, CH30-004, CH30-005

CH30-017, CH30-018, CH30-020, CH30-021, CH30-022, CH30-026, CH30-030, C019-001, C019-002, C019-004, C019-005, C019-012

«製造販売後調査等» (2件)

SH26-042, SH27-039

<その他>

1. 2019年8月27日開催本委員会における会議の記録の概要の公表案について

審査結果: 承認

2. 次回の開催日、次々回の開催日について

次回 : 11月26日 (火曜) 16:00~ 医歯学総合病院第二会議室 (西診療棟3階)

次々回: 12月24日 (火曜) 16:00~ 医歯学総合病院第二会議室 (西診療棟3階)